

「国語科」学習指導案

1. 日時 令和〇年〇月〇日 (〇)
2. 場所 〇〇〇教室
3. 学部・学年・組 高等部 第2学年
4. 単元名 気持ちについて考えよう！～気持ちってどんな色？～
5. 単元目標

- ・いろいろな感情を理解し、色で表すことができる。(知識及び技能)
- ・登場人物の気持ちを考えることができる。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者と協力して活動に参加しようとしている。(学びに向かう力、人間性等)

6. 生徒観 略

7. 教材観

本単元では、自分や他者の気持ちに気づく力を育み、思いや考えを何らかの方法で表現する力を身につけたい。人は生活していく上で、いろいろな経験を積み重ね、その時々を感じる気持ち(感情)が存在する。気持ちに色をつけていくことで、ポジティブな感情では暖かい印象を与える色(暖色系)や、マイナスな感情では冷たい印象を与える色(寒色系)のイメージがあることに気づくことができることをねらいとし、自分が考えたことを表現したり伝えたりして情報を共有する力を身につけていきたい。また、文章読解を通して、登場人物を感じる気持ちや思いを読み解いていく。文中での登場人物の気持ちの変化に気づき、状況に応じて自分や相手に与えてしまう気持ちにも触れながら取り組み、生徒の学びへとつなげていきたい。

8. 指導観

指導に当たっては、自分や他者が抱いた感情にはどんなものがあり、どんな印象を与える色をしているのかを考えながら学習を進めていきたい。また、感情を色で表すことで、言葉の意味の理解を深めるだけでなく色から感じられる暖かさや冷たさなどに気づいたり感じたりすることができるようにしていく。

また、人にはいろいろな感情があり、自分が抱く気持ちに自覚を持って、口頭での表現や文章や単語で表現して相手に自分の気持ちや思いを伝えることができる方法を身につけていきたい。そのため、ワークシートや気持ちの色カードを使用しながら自分の気持ちや文中での登場人物らの気持ちに気づき、人には状況に応じて感じる気持ちがたくさんあることの理解を深めていきたい。また、友だちと意見や考えを共有する時間を設定して、他者に自分の考えや思いを伝えることができる場面も設定していく。

9. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①いろいろな感情の言葉を理解している。 ②文中から登場人物の思いや考えを見つけることができる。	①いろいろな感情を色で表すことができる。 ②文章を読んで状況や情景から、登場人物の思いや感情を考えることができる。	①自分の考えを他者に伝えることができる。 ②友だちと協力して活動に取り組もうとしている。

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全7時間、本時は第4時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
第1次	1 2	気持ちについて考えよう	・気持ちに関する映像を見てみよう ・キャラクターの名前のマッチング ・自分が感じたことのある気持ちを考える。	・気持ちを考えやすいように、感情に関する短めの映像を用いて、いくつかの気持ちを確認する。 ・気持ちや考えを表出することがにがてな生徒には、ヒントとなる選択肢を準備しておく。 ・情報共有をしやすい環境を設定する。	A①
	3 4	気持ちに色をつけよう	・それぞれの気持ちの色はどんな色なのかを考えて表現する。 ・各自で考えた気持ちの色を発表する。	・映像で見た、感情のキャラクターをヒントに提示する。 ・感情の色をイメージしやすいように、具体的な例を示しながら言葉かけをする。 ・発表がにがてな生徒については、教員と一緒にやる。	A① B① C①②
第2次	5 6 7	物語を読もう	・物語を読む。 ・話の流れを捉える。 ・登場人物の思いや気持ちについて考える。 ・登場人物の気持ちに色を付け、気持ちの移り変わり表を	・物語の内容を理解しやすいように、場面ごとに分けて読み進めていく。 ・登場人物の思いや気持ちを考えやすいように、ロールプレイや具体例を示しながら取り組む。 ・物語を読んで登場人物の気	A② B①② C①②

			作成する。	持ちを色で表現できるように、色カードを各生徒に準備し、色を選択・提示できるようにする。	
--	--	--	-------	---	--

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・いろいろな感情を書き出し、色で表現することができる。(思・判・表)
- ・他者に自分の考えを伝えようとしている。(学・人)

(2) 本時の評価規準

- ・これまでの経験を振り返り、いろいろな感情を表出することができる。(A①)
- ・ヒントをもとに感情に関する言葉を見つけ出すことができる。(A①)
- ・感情を色で表現することができる。(B①)
- ・自分の考えを伝えようとしている。(C①)

(3) 本時で扱う教材・教具

学習プリント、色カード、色鉛筆、モニター、タブレット端末

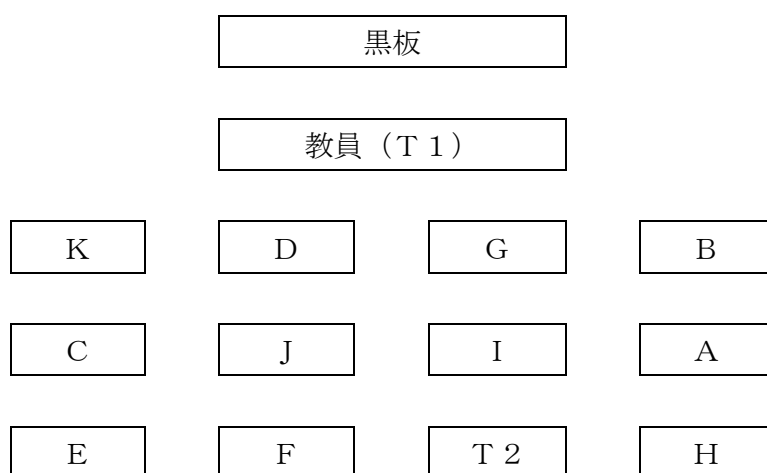
(4) 児童生徒の実態と本時の目標 略

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準 (評価方法)
5分 導 入	・ はじまりの挨拶 ・ 出欠確認 ・ 本時の流れの確認をする ・ 机上の整理	・ 授業の始まりを意識して開始できるように、教員が号令する。 ・ 教員が一人ひとりの名前を呼び、出欠確認をする。前に立つ教員を見て返事するように、言葉かけを行う。生徒の返事によって体調等を把握する。 ・ 黒板に本時の流れを掲示して説明する。見通しを持てるように、授業中は掲示しておく。 ・ 活動の準備ができているか確認する。準備のできていない生徒には、T Tが言葉かけを行う。	

5分	・ 本時の振り返り	・ 板書やモニターで確認しながら、振り返りをする。	
まとめ	・ 連絡帳を記入する ・ 終わりの挨拶	・ 黒板を見て、連絡帳に本時の内容を記入する。 ・ 教員が号令する。	

（６）教室配置等（正面を上にして、児童生徒や教員の位置、教材・教具の配置等を示す）



※状況に応じて座席が変更される場合がある。